

経営課題を解決

IRC

情報  
提供人材  
育成経営  
支援ホームページを  
リニューアルしました。  
ぜひご覧ください!「新たな価値を創造・提供し続ける  
企業グループ」を目指して  
いざぎん地域経済研究センターエレベーターメーカーより安くなる  
のはサービス品質に差があるから?コストダウンには品質  
は関係ありません!  
本体コストの差によるもの  
で安全性は変わりません!創業46年 エレベーターの保守・改修工事  
愛媛メンテナンス株式会社

感動を、けずりだそう。

マルトモ

プレミアム  
PREMIUM  
dried bonitoプレミアムなかつお節といえば  
「プレミアム」です。

TEL 7999-3192 愛媛県伊予市米湊169番地 HP https://www.marutomoto.co.jp

週刊  
1973年創刊阿ることなく・恐れることなく  
愛媛経済レポート

2026年(令和8年)10月19日号 第2514号

越智工業所

## JICA救助チームからテント受注

今治発の炭素繊維フレームシェルター、世界の被災地へ



救助チームは海外の被災地に入ると、指揮所や医療スペース、休憩場所、資機材置き場をすぐに設ける必要がある。従来は欧米製のテントを使っていたが、同社が国産品の採用を働き掛けてきた。これまでに政府開発援助(ODA)向けに防災用テントを2千基以上納めており、シェルターも消防や病院に納入実績がある。炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製のパイプは県産業技術研究所などと産官連携で開発し、約6年前に国内初の炭素繊維フレームを使ったテントとして商品化した。パイプは自社で一貫製造する。ビッグクイックシェルターは軽く、2人なら約90秒で組み立てられる。4×5mの大きさでも収納時は約1立方メートルに収まり、空輸にも適している。

越智社長は「災害現場では一分一秒が大きな意味を持つ」と強調する。短時間で設営できれば、人員と時間を本来の救助活動に集中できるという。「愛媛・今治から生まれた技術が国際的な災害支援の現場で役立つことは大きな励み」とし、「さらに早く、安全に展開できるシェルターを追求していく」と語る。今後はJDRでの使用後に意見を聞き取り、G7をはじめ各国の救助隊への売り込みも視野に入れる。

遮熱生地は近年の猛暑を踏まえたJICA仕様。空気で膨らませるエアテントは空気漏れや再充填が課題で、熊本地震の際には、消防隊のテントが空気漏れで立たなかった例もあったという。同社のシェルターはフレーム式のため幕が破れても形を保つ。指揮所や陰圧シェルター、除染シェルターとしても使える。使用後の整備も同社が担う。

## 特注の遮熱モデル

る。人力で広げて起こすだけで組み上がり、特別な手順が要らない点もJICAに高く評価された。

テントメーカーの(株)越智工業所(今治市桜井、越智戒社長)は、国際協力機構(JICA)から国際緊急援助隊(JDR)救助チーム向けのテント計14基を受注した。受注額は約9千万円。骨組みに炭素繊維製パイプを使う「ビッグクイックシェルター」で、天幕に遮熱生地を採用。2027年3月以降に順次納める予定だ。

フリードリンク付かにコースあります



かに道楽 松山店

松山市一番町2-6-3 ☎089-941-2448

思わず行きたくなる！ひと  
うわさの女



accessory mew 主宰  
地域密着リポーター

Chi さん



アクセサリーの委託販売先は、cafe Re. (松山市柳井町)、Chiroe's cafe (新居浜市久保田町)、カインフーリスト (四国中央市三島中央) ほか。ほとんど1点物で価格は2,000円台から。商品の台紙には支援学校の生徒が作った和紙を採用。

2026年版「会社年鑑」より一部掲載

中小企業家同友会 女性部委員会 探訪

**探訪**  
 11月30日、愛媛県中  
 小企業家同友会女性部  
 委員会のお披露目会が  
 松山市内で開催される。  
 女性部委員会では、「  
 『すべての会員のとり  
 ぎ(第三の場所)になる』  
 を掲げ、経営課題を発  
 見し、女性ならではの  
 感性を生かして企業発  
 展につなげる活動を行  
 っている。」

愛称は「One piece（ワンピース）」。一人ひとり個性のあるオンリーワンのピースでありたいといった思いなどを込めているお披露目会の第1部では、記念講演のほかパネルディスカッションを行う。記念講演の講師は、(株)



村上天 (Mura Sora) 市山 (Ichiyama) (松山) (Matsuyama) F C 愛媛 (Awa)

萩江社長。村上社長は昨年12月に同社の社長に就任し、全60クラブ唯一の女性社長としてクラブ経営を牽引している。

パネルディスカッションでは、村上社長のほか、(株)吉村（東京都）の橋本久美子社長と(株)エルパティオ（松山市）の川崎暁子社長が登壇。第2部では、グループ討論と懇親会を予定している。

経営の学びを深めたい女性経営者や相談できる仲間、ロールモデルがほしい人の参加を募集する。男性経営者の参加も歓迎する。川崎社長は「外部環境が変化していく中で、今何をすべきかヒントになれば。女性部の活動を知ってもらう機会にもしたい」と話す。

会場はリジエール松山（松山市南堀端2―3）。時間は14〜19時。参加費は8千円。定員は80人程度（先着順）。申込はQRコードから。

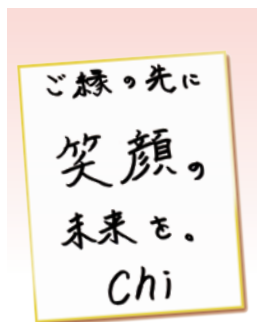


社長の Birthday

河合崇さん（ユナイテッドシ  
ルク株）、昭和48年10月13日  
関宏孝さん（セキ株）、昭和53  
年10月13日  
内田裕太朗さん（株）キャンブ  
ネット）、昭和61年10月13日  
高橋秀彰さん（株）アニバーサ  
リー）、昭和39年10月14日  
岡部孝さん（伊予商運株）、昭  
和31年10月15日  
藤田宣邦さん（株）アール・シー！  
フードバック）、昭和47年10月  
16日  
澤田大介さん（株）SKハウス）、  
昭和48年10月16日  
正岡昇さん（株）シンプル）、昭  
和49年10月17日  
米山徹太さん（米山工業株）、  
昭和45年10月18日

アクセサリー作家のほか、SNSの運用代行や、地域密着力的な店を取材しSNSで発信する。また40〜50代の単身者を対象に出会いや仲間づくりの場を提供する地域活性化共創プロジェクト「なんぞあらい」と「にいはまパンマルシェ」のPRアンバサダーを務めるなど多忙な日々を過ごす。

香川県出身。話は端折るが、



聞けば壮絶な人生を送ってきた。「大変でしたよ」と明るく笑う。3児の母で、次男が最重度の障がいを持つ。「子どものおかげで周りの人の温かさが分かりま

した。ご飯は毎回ひっきりかえられますけど」。

6年半前に再婚と子どももの学校の関係で新居浜に移住。香川のテレビ番組での食リポ経験を生かし、新居浜でもインスタでの投稿を開始。それをきっかけにアンバサダーの依頼だけでなく、司会の仕事の話もきた。「自分がどこまでできるのかわからないけど、役に立てるのなら頑張りたいです」と話す。

※当コーナーにご登場いただける女性を募集しています ☎ 089-947-1411 (うわさの女係)